



たいじゅ もり
大樹の森

10月号



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



一秒の言葉の中に…

校長 山下 謙一郎

学校では子どもたちに、よく「挨拶をしましょう」と声をかけます。それは、挨拶は人と人をつなぐ素敵なコミュニケーションを築いていくきっかけとなることが多いからです。

私が子どもたちの登校時に正門に立っていると、積極的に挨拶をしてくれる子もいれば、少し照れくさそうに挨拶をする子もいます。登校時のことなので、わずか数秒の間のやりとりですが、その時の子どもたちの表情や言葉のトーンがいつもと違うことがあります。そんなときは、さらにもう一声かけて子どもたちの心の内側に迫ろうとしてみます。「実は…」とお話してくれる子もいれば、何も言わない子もいます。そういうときは、担任の先生と共有することで、今日は様子を注意深く見ていこうと話し、支援していくこともあります。

さて、少し前のことですが、こんな詩に出会ったことがあります。

一秒の言葉

- 「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることがある
- 「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に人の優しさを知ることがある
- 「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることがある
- 「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉で 幸せにあふれることがある

(抜粋) 小泉 吉宏 『一秒の言葉』 より

私たちがふだん何気なく使っている言葉の中には、相手に大きな影響を与える言葉がたくさんあります。ほんの一瞬、時間にして一秒足らずの言葉ですが、それは時に人を励まし、力を与えてくれるものになります。しかし、一方で同じ一秒に満たない言葉の中には、相手を傷つけ、苦しませる言葉もあります。

たった一秒ですが、そこには大きな「力」が詰まっています。同じ「力」を与えられる言葉であれば、相手を勇気づける言葉をたくさん表出できる、そんな不動丸小学校になるようにこれからも教職員一同がんばっていきたいと思います。